

《重点項目》

2017 年度は、本学会の理念体系の使命・学会像・全体目標に基づき策定された「2015－2019 年度事業計画」を本格的に実施する。

9 つの事業を着実に実施していくなかで、特に以下の項目に重点的に取り組む。

1. マイページをはじめとする新たなウェブシステムの運用を図るとともに、システムを用いた会員登録、大会参加登録、学会誌投稿等の確実な普及に努めること
2. 2016 年度に策定した社会的研究課題及び社会的課題を本学会全体で共有し、両課題に関連した事業を推進していくこと
3. 事業を安定的に運営するための財政基盤を強化するために、新生学会の理念や新規事業を周知し、会員増を図る努力をするとともに、寄附金活動に取り組むこと

1. 研究・研修事業

(1) 大会事業（所掌：大会委員会）

ア. 春季・秋季の各大会を次の通り行う。

春季大会：2017 年 5 月 20 日（土）・5 月 21 日（日）、早稲田大学（東京都新宿区）

秋季大会：2017 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）、朱鷺メッセ（新潟県新潟市）

イ. 春季大会で特別プログラムを企画・実施する。

(2) 支部活動事業（所掌：支部活動委員会）

ア. 支部集会を次の通り行う。

第 1 回支部集会（九州・沖縄支部）：2017 年 6 月 10 日（土）・11 日（日）、大分大学（大分県大分市）

第 2 回支部集会（四国支部）：2017 年 6 月予定、愛媛大学（愛媛県松山市）

第 3 回支部集会（北海道支部）：2017 年 7 月 1 日（土）、北海道大学（北海道札幌市）

第 4 回支部集会（北陸支部）：2017 年 7 月 2 日（日）、石川県政記念しいのき迎賓館（石川県金沢市）

第 5 回支部集会（中部支部）：2017 年 7 月 8 日（土）、名古屋工業大学（愛知県名古屋市）

第 6 回支部集会（関西支部）：2017 年 9 月 23 日（土・祝）、立命館大学衣笠キャンパス（京都府京都市）

第 7 回支部集会（中国支部）：2017 年 10 月 21 日（土）、島根大学（島根県松江市）

第 8 回支部集会（関東支部）：2017 年 11 月予定、山梨県予定

第 9 回支部集会（東北支部）：2017 年 12 月 10 日（日）、東北大学（宮城県仙台市）

第 10 回支部集会（四国支部）：2017 年 12 月 16 日（土）、愛媛大学（愛媛県松山市）

第 11 回支部集会（中国支部）：2018 年 3 月予定、会場未定

イ. 秋季大会で「ご当地企画」を企画・実施する。

(3) チャレンジ支援事業（所掌：チャレンジ支援委員会）

年齢や経験、業績にかかわらず、新規に日本語教育関連の研究や実践に取り組む人に対する支援・育成をめざした事業を行う。

- ア. 春季・秋季大会で、大会参加支援として「わかば・コンシェルジュ」ブースの設置、オリエンテーション「わかばさんいらっしゃい」、先輩との対話の場「ぷらさ da わかば」を企画・実施する。
- イ. 発表応募支援「発表応募おせっかい」「発信セミナー(仮称)」を企画・実施する。
- ウ. ウェブサイト上でのニーズ調査を企画・実施する。
- エ. その他、各種新規支援事業の企画・準備を行う。

(4) 表彰事業(所掌:表彰委員会・授賞候補選考委員会・学会誌委員会)

- ア. 日本語教育学会賞・奨励賞
2016年度日本語教育学会学会賞・奨励賞・功労賞・学会活動貢献賞を2017年5月20日に開催される春季大会において授与する。
- イ. 『日本語教育』論文賞
2016年度日本語教育学会『日本語教育』論文賞を同上の春季大会において授与する。
- ウ. 2017年度日本語教育学会学会賞・奨励賞・功労賞・学会活動貢献賞の各賞の選考を行う。

2. 調査研究事業

(1) 刊行事業(所掌:学会誌委員会)

- ア. 学会誌『日本語教育』(電子版・冊子版)の発行(所掌:学会誌委員会)
166号~170号の発行と準備を次の日程で行う。
166号:2017年4月発行(投稿締切:2016年9月1日)
167号:2017年8月発行(投稿締切:2017年1月10日)
168号:2017年12月発行(投稿締切:2017年5月1日)
特集テーマを設定する。
169号:2018年4月発行(投稿締切:2017年9月1日)
170号:2018年8月発行(投稿締切:2018年1月10日)
- イ. 2015年度発行の学会誌『日本語教育』掲載論文をJ-Stageで公開する。また、2017年度発行の学会誌『日本語教育』掲載論文の公開準備を行う。
- ウ. 2016年度『日本語教育』論文賞受賞論文の概要紹介(英語版)をウェブサイトで公開する。
- エ. 166号の論文投稿・査読から、オンラインシステムを導入する。

(2) 調査研究事業(所掌:調査研究推進委員会)

- 日本語教育学会全体の調査研究の方向性を検討し、日本語教育調査研究関連情報の収集、研究交流、研究者育成について調査研究を多角的に推進する。
- ア. 春季大会で科研費申請のための支援セミナーを企画・実施する。
- イ. 秋季大会で倫理・指導者向け講習を企画・実施する。
- ウ. 研究課題に関し、ワールドカフェ、アンケートを企画・実施する。
- エ. 学会誌特集や大会テーマの提案、情報提供を行うとともに、日本語教育学会の査読体制の見直し、審査・運営協力員の補充・強化を図る。

(3) 社会啓発事業(所掌:社会啓発委員会)

- ア. 秋季大会の特別プログラムを企画・実施する。
- イ. 日本語教育学会全体の研究分野の分布を調査する。
- ウ. 日本語教育に関する調査・研究のポータルサイト設置準備を進める。
- エ. 会員、一般社会、行政・立法府、メディア等への情報・意見発信を行う。
- オ. 関係諸団体との協力関係づくりを進める。
- カ. 寄附金に関する具体的な戦略を検討する。

3. 情報交流事業

(1) 広報事業(所掌:広報委員会)

- ア. ウェブサイトの管理・運営。
不特定多数向けのサイトとして運営し、一般向けページを充実させる。多様なユーザーに対して、それぞれのニーズにあったコンテンツを提供し、ユーザーの拡大をめざす。また、双方向性を高め、会員が発信することが受益となるようにする。
- イ. 学会活動の外部理解を深めるパンフレット・リーフレット等を制作する。
- ウ. 各種委員会との連携で広報活動を展開する。
- エ. 学会メールマガジン、ツイッター、フェイスブックを有効活用する。

4. 連携推進事業

(2) 国際連携事業（所掌：国際連携委員会）

- ア. 世界 10 か国・地域の学会で構成する「日本語教育グローバル・ネットワーク (GN)」事務局としての役割を引き続き担い、GN の活動を推進する。
- イ. GN ウェブサイトの管理・運営を行う。
- ウ. 学会誌コンテンツ「海外コラム」、「世界の日本語教育」の掲載準備を行う。
- エ. 2018 年 8 月 3 日（金）～4 日（土）にヴェネツィアにて開催される「日本語教育国際研究大会 2018」の準備に協力する。
- オ. 中等教育関連プロジェクトの企画・準備を進める。

(3) 学会連携事業（所掌：学会連携委員会）

- ア. 言語系学会連合
言語系学会連合（加盟 38 学会）の活動に幹事学会として参加し協力する。また、2018 年 5 月に開催予定の公開イベントの企画・準備を進める。
- イ. 多文化系学会連携協議会
多文化系学会連携協議会（異文化間教育学会、日本コミュニティ心理学会、日本学校教育学会、日本語教育学会）の活動に引き続き協力する。また、2018 年 5 月に開催予定のシンポジウムの企画・準備を進める。
- ウ. Net-J
Net-J（当学会他 6 研究会が加盟）の活動に参加協力し、互いの情報交流や情報共有、連携を推進する。また、春季大会で各加盟団体による企画を実施する。
- エ. 日本語教育関係機関・団体との協力
日本語教育関係機関・団体の事業に対し、要請に応じて後援等付与の協力を行う。
- オ. 事典英訳
『新版日本語教育事典』の英訳のウェブ公開を進める。

5. 会務運営

(1) 代議員総会・理事会

- ア. (2017 年度) 第 5 回定時代議員総会を 2017 年 5 月 21 日に開催する。
- イ. 理事会を年 3 回程度開催する。
- ウ. 常任理事会を年 10 回程度開催する。

(2) 公益法人としての手続きおよび体制の整備

- ア. 公益法人として求められる所要の報告とともに、体制の整備（関係規程を含む）を進める。

以上